

## ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

### バンクローン市場について

2023年3月20日

平素は当ファンドをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

シリコンバレーバンク（以下、SVB）やシグニチャーバンクの経営破綻などを発端にした足元の金融市場の混乱を受けて、バンクローン市場への影響などについてお知らせいたします。

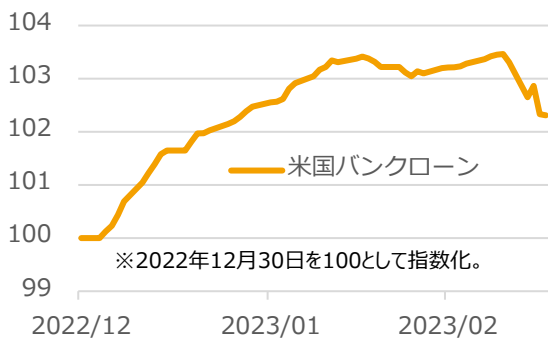
#### シリコンバレーバンクやシグニチャーバンクの経営破綻などを発端に金融市場が混乱

3月10日（現地、以下同様）、SVBがカリフォルニア州当局から事業停止の措置を受け、FDIC（米国連邦預金保険公社）の管理下に入りました。また12日にはNY州を地盤とするシグニチャーバンクが同様の措置を受けました。ともに経営不安で預金が流出し、流動性不足に陥ったのが破綻の原因とみられます。

SVBやシグニチャーバンクの経営破綻をきっかけに、米株式市場では金融株を中心に売りが膨らむなど金融市場は一時混乱状態となりました。米国バンクローン市場においても、金融市場の混乱を受けて直近高値の3月9日対比で▲1.1%と下落（3月16日時点）しました。

#### 市況データ

(2022年12月30日～2023年3月16日)



※2022年12月30日を100として指数化。

※米国バンクローンは、Credit Suisse Leveraged Loan Total Return Indexを使用しています。

(出所) ブルームバーグ

#### バンクローン市場への直接的な影響は抑えられる見通し

以下は当ファンドで投資している「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド」に関するコメントです。

バンクローン市場への影響に関しては、SVBなどの経営破綻は個別要因で生じたものとみられており、また米国政府およびFRB（米国連邦準備制度理事会）は金融システム全体に波及するリスクを抑えるために介入することを発表しているため、バンクローンの発行体への直接的な影響は抑えられると考えています。また、スイスの大手銀行であるクレディ・スイス（以下、CS）の経営不安が取り沙汰されているものの、スイスの最大手銀行のUBSがCSを買収することに同意したとの報道もあり、同ヘッドラインによるバンクローン市場への影響は限定的と考えられます。当ポートフォリオはCSとのバンクローン取引はなく、また主な投資対象とみなしている高格付け、発行金額の大きいバンクローンの大半が複数業者との取引が可能となっており、取引停止などのリスクは相対的に小さいと考えます。

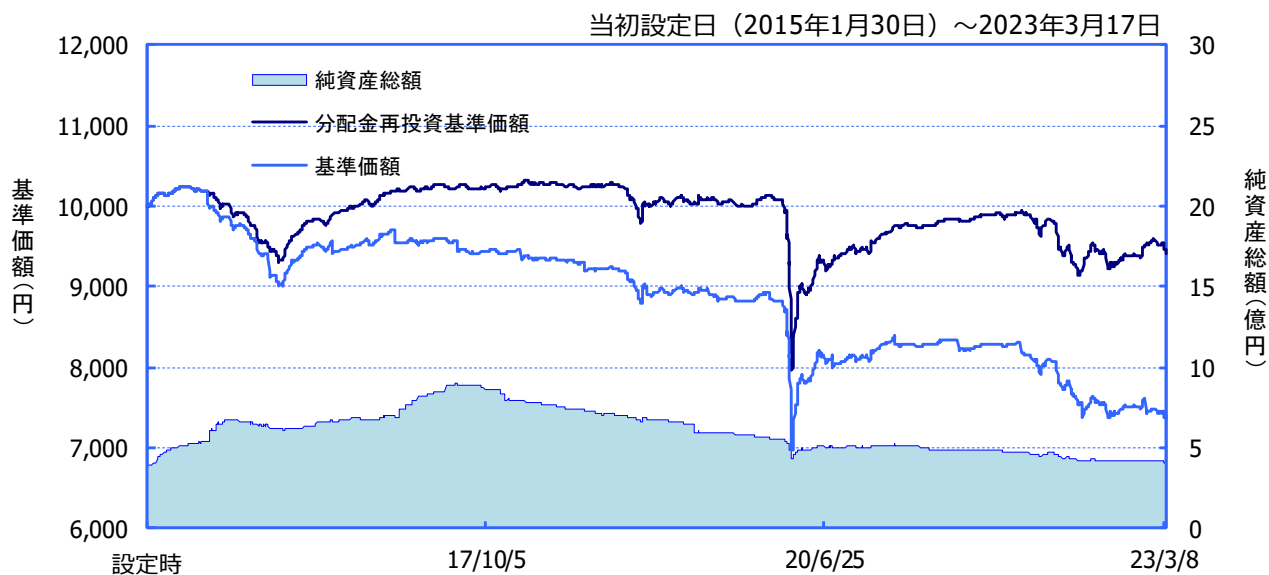
なお、当ポートフォリオにおいては、SVBやシグニチャーバンク、CSといった銘柄は保有しておらず、直接的な影響は出ておりません。ただし、これらの問題が解決されるまでの間は、金融市場のボラティリティが高まる可能性があり、引き続き動向を注視していきます。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

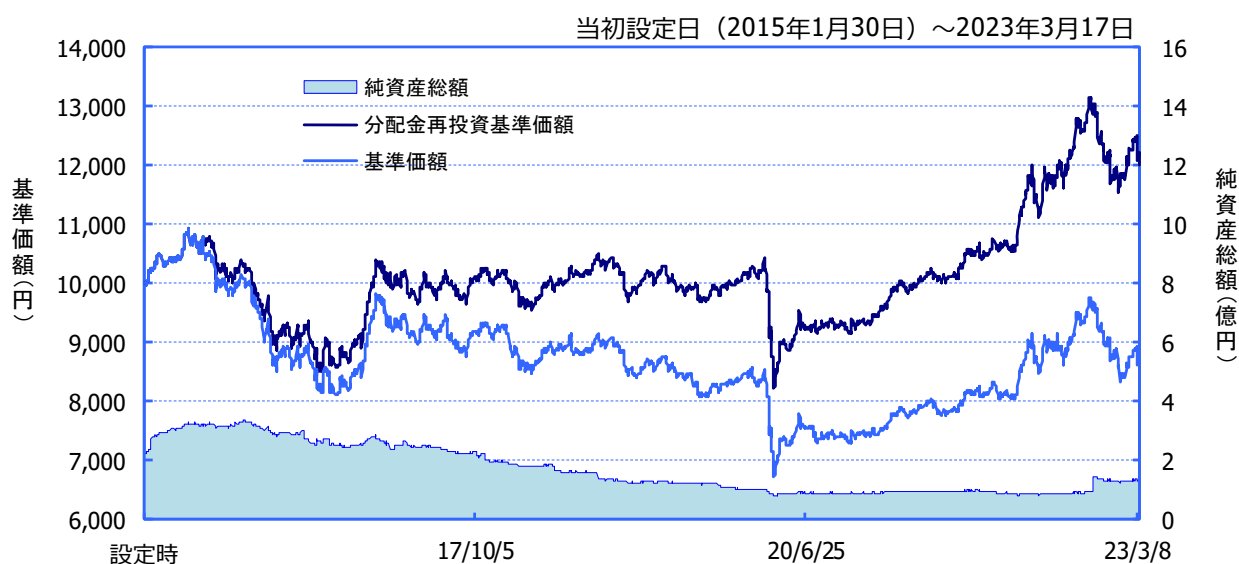
※バンクローン市場のコメントは、J.P.モルガン・アセット・マネジメントのコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

## ■ 基準価額・純資産の推移

### ■ 為替ヘッジあり



### ■ 為替ヘッジなし



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。  
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

## ■ ファンドの目的・特色

### ファンドの目的

外国投資信託を通じて米ドル建てのバンクローン等に投資することにより、安定的なインカム収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

### ファンドの特色

1. 主として、米ドル建ての担保付バンクローンに実質的に投資します。

◆バンクローンとは

銀行などの金融機関が、主に格付けが投資適格未満（BB 格相当以下）の事業会社等に対して行なう貸付けの債権をいいます。

◆バンクローンの特徴

相対的に信用度の低い企業に対する貸付債権であるため、投資適格債券（BBB 格相当以上の債券）などと比較して相対的に高い利回りとなっています。

担保付が一般的であるため、無担保の社債などと比較して債務の弁済順位が高くなっています。

変動金利が一般的であり、市場金利の変動による価格の動きは相対的に小さくなります。

取得時において、BB 格相当以下の格付けのバンクローンに主として投資します。

\*無担保のバンクローンにも投資する場合があります。

・米ドル建てのハイ・イールド債券（BB 格相当以下の債券）等にも投資する場合があります。

・格付けの判定はムーティーズおよび S&P の格付けを参照します。

※二つの格付会社で格付けが異なる場合は、高い方の格付けを採用します。

・無格付けのバンクローンおよび債券にも投資を行なう場合があります。

※その場合、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が BB 格相当以下の格付けであると判断したものに限りま

2. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。

◆「為替ヘッジあり」

・為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

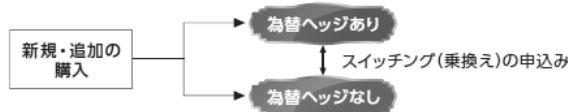
◆「為替ヘッジなし」

・為替変動リスクを低減するための為替ヘッジは原則として行いません。

※基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

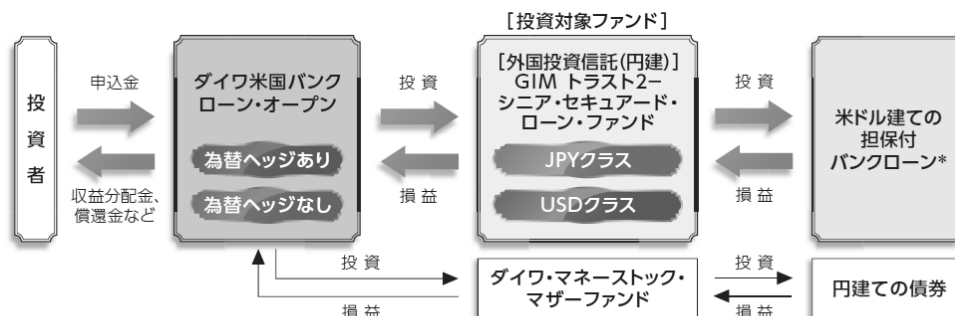
### スイッチング(乗換え)について

◆[為替ヘッジあり]と[為替ヘッジなし]の間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。



3. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

外国投資信託の受益証券を通じて、米ドル建てのバンクローン等に投資します。



\*無担保のバンクローン、米ドル建てのハイ・イールド債券等にも投資する場合があります。

当ファンドは、通常の状態、投資対象とする外国投資信託への投資割合を高位に維持することを基本とします。  
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

## 投資リスク

- 当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある資産に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（バンクローンの価格変動、公社債の価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

## ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉2.2%（税抜2.0%） スイッチング（乗換え）による 購入時の申込手数料については、 販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.1825% （税抜 1.075%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.63%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.8125%（税込）程度（純資産総額によっては上回る場合があります。）	
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

### 大和証券

Daiwa Securities

〈販売会社〉

商号等 大和証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号  
加入協会 日本証券業協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
一般社団法人日本STO協会

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

## 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。